

## 平成23年1月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成22年6月9日

上場取引所 JQ

上場会社名 ゴールドパック株式会社  
 コード番号 2589 URL <http://www.gold-pak.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員  
 四半期報告書提出予定日 平成22年6月14日  
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 村上 豊  
 (氏名) 菅澤 正嗣

TEL 03-3780-5648

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年1月期第1四半期の業績(平成22年2月1日～平成22年4月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年1月期第1四半期	8,393	10.2	193	—	114	—	72	—
22年1月期第1四半期	7,616	—	△57	—	△93	—	△28	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年1月期第1四半期	24.29	—
22年1月期第1四半期	△9.29	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年1月期第1四半期	22,412	9,909	44.2	3,387.17
22年1月期	22,806	10,014	43.9	3,309.93

(参考) 自己資本 23年1月期第1四半期 9,909百万円 22年1月期 10,014百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年1月期	—	0.00	—	25.00	25.00
23年1月期	—				
23年1月期(予想)		10.00	—	15.00	25.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成23年1月期の業績予想(平成22年2月1日～平成23年1月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	20,320	1.2	682	△20.6	560	△29.5	325	△33.6	107.42
通期	36,456	1.2	960	0.5	781	△5.2	435	△10.1	143.78

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年1月期第1四半期	3,025,522株	22年1月期	3,780,000株
② 期末自己株式数	23年1月期第1四半期	100,000株	22年1月期	754,478株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	23年1月期第1四半期	2,991,814株	22年1月期第1四半期	3,025,522株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国経済は、海外経済の改善や国の緊急経済対策を始めとする政策の効果などを背景として、一部業種において景気回復の兆しが見られるものの、本格的な景気回復には至らず、先行きの不透明感から個人消費の低迷が続く厳しい状況で推移いたしました。

清涼飲料業界におきましても、消費マインドの低下や天候不順などの影響を受け、販売数量は低調に推移いたしました。また、物価動向が緩やかなデフレ状態にあることから、販売価格競争がさらに激化しており、経営環境は厳しい状況が続いております。

当社はこのような状況下において、新製品等の受託に注力するとともに、引き続き「中期経営計画」に則り収益性の改善を図るため、コスト削減等の施策を推進してまいりました。

これらの結果、当第1四半期会計期間の業績は、売上高8,393百万円（前年同期比10.2%増）、営業利益193百万円（前年同期は営業損失57百万円）、経常利益114百万円（同経常損失93百万円）、四半期純利益72百万円（同四半期純損失28百万円）となりました。

各事業の業績は下記のとおりであります。

#### （受託製造事業）

受託製造事業全体の売上高は7,105百万円（前年同期比15.1%増）となりました。受託製造事業の容器別では、野菜飲料および果実飲料が増加したことにより紙容器飲料が大幅に伸長（同55.5%増）し、また、その他清涼飲料等が増加したことにより缶容器飲料も伸長（同17.7%増）いたしました。

#### （メーカー事業）

メーカー事業全体の売上高は1,287百万円（前年同期比10.9%減）となりました。メーカー事業の品目別では、野菜飲料が小幅ながら伸長（同3.3%増）したものの、茶系飲料が大きく低迷（同32.4%減）いたしました。

### 2. 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末の総資産は、商品及び製品、原材料及び貯蔵品が増加しましたが、現金及び預金、受取手形及び売掛金、有形固定資産が減少したため、前事業年度末と比較して394百万円減少し、22,412百万円となりました。

負債は、短期借入金が600百万、長期借入金が増加しましたが、1年内返済予定の長期借入金の返済による3,380百万円の減少及び未払法人税等の減少などにより、前事業年度末と比較して289百万円減少し、12,502百万円となりました。

純資産は、自己株式の消却によるその他資本剰余金902百万円の減少、四半期純利益72百万円及び配当金の支払額75百万円による利益剰余金2百万円の減少、自己株式の取得及び消却による自己株式789百万円の減少により、前事業年度末と比較して105百万円減少し、9,909百万円となりました。

#### （キャッシュ・フローの状況）

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前事業年度末に比べ499百万円減少し185百万円となりました。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は449百万円（前年同期は234百万円の支出）となりました。

これは主に、税引前四半期純利益126百万円に減価償却費241百万円、売上債権の減少額165百万円等による増加、仕入債務の減少額196百万円、たな卸資産の増加額462百万円、法人税等の支払額298百万円等による減少を調整したものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は80百万円（前年同期比42.9%減）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出74百万円等によるものです。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は31百万円（前年同期比72.9%減）となりました。

これは主に、短期借入金による600百万円や長期借入金による4,000百万円の増加に対し、長期借入金の返済による4,380百万円や自己株式の取得による112百万円の支出等によるものです。

### 3. 業績予想に関する定性的情報

平成23年1月期第2四半期累計期間及び通期の業績につきましては、平成22年3月16日に公表いたしました予想に変更がありません。

### 4. その他

#### (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### ・簡便な会計処理

##### ①たな卸資産の評価方法

当第1四半期会計期間末における主な棚卸資産の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前事業年度末に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法としております。

##### ②繰延税金資産の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法を適用しております。

#### (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年4月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	185,258	684,618
受取手形及び売掛金	5,844,993	6,010,490
商品及び製品	1,651,327	1,397,901
原材料及び貯蔵品	912,680	703,650
その他	260,603	246,042
貸倒引当金	△2,400	△2,500
流動資産合計	8,852,463	9,040,202
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,430,094	3,486,398
機械及び装置(純額)	2,678,509	2,795,035
土地	6,359,703	6,359,703
建設仮勘定	2,055	3,051
その他(純額)	324,091	336,967
有形固定資産合計	12,794,454	12,981,156
無形固定資産	204,706	218,026
投資その他の資産		
その他	584,552	590,892
貸倒引当金	△24,092	△23,892
投資その他の資産合計	560,460	567,000
固定資産合計	13,559,622	13,766,184
資産合計	22,412,086	22,806,386
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,689,546	4,886,222
短期借入金	600,000	—
1年内返済予定の長期借入金	1,574,000	4,954,000
未払法人税等	65,495	312,545
賞与引当金	204,036	116,592
その他	1,142,105	1,258,734
流動負債合計	8,275,183	11,528,094
固定負債		
長期借入金	4,105,000	1,105,000
引当金	112,354	148,065
その他	10,301	10,973
固定負債合計	4,227,655	1,264,039
負債合計	12,502,839	12,792,133

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年4月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年1月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	303,000	303,000
資本剰余金	298,109	1,200,231
利益剰余金	9,373,612	9,376,566
自己株式	△119,569	△909,091
株主資本合計	9,855,153	9,970,706
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	54,093	43,546
評価・換算差額等合計	54,093	43,546
純資産合計	9,909,246	10,014,253
負債純資産合計	22,412,086	22,806,386

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年2月1日 至平成21年4月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年2月1日 至平成22年4月30日)
売上高	7,616,683	8,393,124
売上原価	6,901,050	7,448,421
売上総利益	715,632	944,703
販売費及び一般管理費	773,168	751,029
営業利益又は営業損失(△)	△57,535	193,673
営業外収益		
受取利息	402	99
受取配当金	300	300
保険配当金	2,129	6,217
その他	2,237	3,206
営業外収益合計	5,070	9,822
営業外費用		
支払利息	37,860	27,134
シンジケートローン手数料	—	57,896
その他	2,729	3,478
営業外費用合計	40,589	88,509
経常利益又は経常損失(△)	△93,055	114,987
特別利益		
賞与引当金戻入額	39,753	—
役員退職慰労引当金戻入額	—	12,469
その他	9,519	100
特別利益合計	49,272	12,569
特別損失		
固定資産除却損	12	211
ゴルフ会員権評価損	775	775
特別損失合計	787	986
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△44,571	126,570
法人税等	△16,471	53,885
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△28,099	72,684

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年2月1日 至平成21年4月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年2月1日 至平成22年4月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△44,571	126,570
減価償却費	289,332	241,054
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	210	200
賞与引当金の増減額 (△は減少)	58,243	87,444
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△1,097	432
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△3,239	△36,144
受取利息及び受取配当金	△702	△399
支払利息	37,860	27,134
固定資産除却損	12	211
ゴルフ会員権評価損	775	775
売上債権の増減額 (△は増加)	715,448	165,396
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△787,806	△462,457
仕入債務の増減額 (△は減少)	△276,541	△196,676
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△85,714	△40,465
その他	△77,700	△21,943
小計	△175,491	△108,866
利息及び配当金の受取額	702	399
利息の支払額	△58,532	△42,618
法人税等の支払額	△1,267	△298,542
営業活動によるキャッシュ・フロー	△234,589	△449,627
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△105,394	△74,667
無形固定資産の取得による支出	△35,598	△5,705
投資有価証券の取得による支出	△450	△449
投資活動によるキャッシュ・フロー	△141,444	△80,822
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	500,000	600,000
長期借入れによる収入	—	4,000,000
長期借入金の返済による支出	△385,000	△4,380,000
自己株式の取得による支出	—	△112,600
配当金の支払額	—	△75,638
その他	△447	△671
財務活動によるキャッシュ・フロー	114,552	31,090
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△261,481	△499,359
現金及び現金同等物の期首残高	527,924	684,618
現金及び現金同等物の四半期末残高	266,443	185,258



(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成22年3月31日開催の取締役会決議に基づき、平成22年4月1日付で市場より100,000株、総額112,600千円の自己株式を取得し、平成22年4月8日付で754,478株の自己株式を消却いたしました。この結果、当第1四半期会計期間において、資本剰余金が902,122千円、自己株式が789,522千円減少し、当第1四半期会計期間末において、資本剰余金が298,109千円、自己株式が119,569千円となっております。

6. その他の情報

販売の状況

販売実績を事業の部門別に示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

品目名称		前第1四半期累計期間 (自平成21年2月1日 至平成21年4月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年2月1日 至平成22年4月30日)	前年同期比 (%)
受託製造事業	ペット容器飲料	4,018,550	4,087,558	1.7
	紙容器飲料	1,265,891	1,968,282	55.5
	缶容器飲料	854,574	1,005,614	17.7
	その他	32,740	43,822	33.8
	小計	6,171,757	7,105,278	15.1
メーカー事業	果実飲料	730,750	703,229	△3.8
	野菜飲料	118,189	122,095	3.3
	茶系飲料	313,552	212,084	△32.4
	ミネラルウォーター	160,277	132,353	△17.4
	その他	122,155	118,082	△3.3
	小計	1,444,925	1,287,846	△10.9
合計		7,616,683	8,393,124	10.2

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。